

茨障研・ミニ学習会のお知らせ



全障研茨城支部では、コロナ禍の中でもオンライン（Zoom）で、ミニ学習会を継続してきました。今回も、茨城の仲間たちの思いや実践報告を聞き、みんなで深めていきましょう。1時間の報告の後に30分のコメントをつけました。ぜひ、この機会に自ら学び、真実をつかんでみよう！

希望とは、地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。（魯迅）平和への道も同じではなからうか。

第1回	12月23日(土) 19:00~20:30	鈴木宏哉さん（元茨城大学教授） 「障害者は民主主義と反戦の旗手」 * 障害者と戦争の歴史を、自らの体験も踏まえて振り返り、平和を守ることの大事さを報告します。 コメント 家平悟さん（障全協、障害者・患者9条の会）
-----	--------------------------	---

【バンクシーの花を投げる人】



ストリートアーティストのバンクシー展をみた。撃たれる危険を冒してイスラエル、パレスチナ紛争地の壁面に描いた…そこに描かれていたのは「敵」に投石しようとする男—だが、男が投げつけようとしているのは石ではなく、花束だ。撃たれたら撃ち返すという論理を越えなければ平和は永遠に実現しない▼…来るべき戦争を、いま、くい止めようと多くの市民が闘っている。憲法9条をまもるたたかいだ。それを理想という人もいる。しかし

「それを実現しない限り永遠に戦争はなくなるならない」という現実を直視するものこそ、真のリアリストではないか。…（TH）—救援新聞「渦巻」より—

■参加費 無料です。どなたでも参加できます。

■申込み 参加希望者は、メールアドレス、「第1回学習会（12月）参加希望」、氏名、電話番号（携帯）、都道府県名を記載して、下記に3日前までに申し込んで下さい。
shantitsukuba298@gmail.com

※申し込み後に、参加のためのZoomのURLを送付いたします。

■問合せ 船橋秀彦 上記のメールアドレス

■主催 全国障害者問題研究会茨城支部